

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7  
災害に強い県土づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 星野 充孝

電話番号

0852-22-5195

事務事業の名称	海岸管理事業	
目的	(1) 対象	海岸周辺住民
	(2) 意図	防護、利用上における海岸の適正管理の一環として、海岸の適正利用の推進を図る。
事業概要	適正な海岸利用を図るため、海岸占用許可における申請者への適切な指導と不法占用物件の適正な処理の推進を行うとともに、海岸巡視も行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	海岸パトロール実施率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	パトロール実施回数/海岸保全区域数×2	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	0	0
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・海岸保全区域について、定期的なパトロールを実施している。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・海岸保全区域について、定期的なパトロールを行っている。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

適正な海岸利用に支障となる大量の漂着物が押し寄せた場合は、その内容物の安全性の確認や回収処分に手間とお金がかかる。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・海外における海洋への大量の投棄によるものと考えられる。

### ③原因を解消するための「課題」

・県だけの対応では限界があるため、市町村や関係団体（地元のボランティア）等と連携し、地域と一体となった対策及び取組が必要である。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県が主体となり、市町村や関係団体（地元のボランティア）等と連携して海岸漂着ゴミを機動的に回収・処理していく体制作りを検討していく。